

新木場木工交流会 発表メモ			1
氏名	南	発表年月日	2016年 5月14日
発表タイトル	寄木模様(市松・矢羽根)の作り方		
内容	作品紹介及びその作り方		
目的・ねらい	寄木模様(市松・矢羽根)の作り方を紹介した		
材料と方法	別紙1～3のとおり		
<p>別紙1、「寄木アクセサリー製作過程の概要」</p> <p>別紙2、「寄木アクセサリー模様の製作工程」</p> <p>別紙3、「寄木アクセサリー作品例」</p>			



寄木アクセサリ製作過程の概要



2016年5月 南

はじめに

本紙は、寄木アクセサリペンダント(縦約50mm、横約40mm、厚み約6mm)の製作過程(主として市松模様)の概要です。なお、紙面の都合上、木工の基本技術(切断、切削、接着、塗装等)の説明は省略しています。また、写真は参考であり、本紙の手順、仕様で製作したものではなく、異なる時期に製作したものをういています。

1 材料

(1) 木材の種類(例)

- ① 白系(ヒノキ)、茶系(マホガニー)、
- ② 黒系(黒檀)

(無くても製作は可(この場合、6, 7の工程を飛ばす。両面同じ模様となる。))

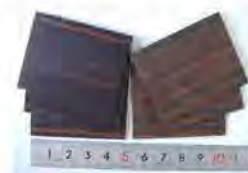
注意点: 寄木細工に使用される樹種に拘らず、身近にある樹種を活用

(2) 木材のサイズと数量(例)

- ① 模様用=白系、茶系ともに、「厚さ約3mm×幅約20mm×長さ約100mm」を各7枚ずつ計14枚、矢羽根は長さ約120mmを各6枚ずつ計12枚
上記により上手に作れば、ペンダントが6個程度作成可能。
(黒系を使用しない場合は3個程度)
- ② 台板用=黒系は、厚さ約2mm×長さ約50mm×幅約40mmを6枚程度

注意点: 1 模様用の板の厚さは「3mm」に拘る必要はなく、4mm、5mm、その中間等でも良いが、全て同じ厚さにする必要がある。
(厚さにばらつきがあると、模様が揃わなくなる。)

2 3mm以外の厚さで製作すると、模様の印象は、写真とは異なってくる。

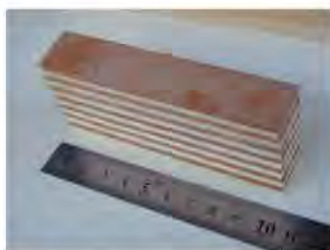


2 積層

- ① 白系、茶系を交互に積層し、各面が直角になるよう接着する。
(矢羽根は、積層写真のように木口面が45度になるよう各板を徐々にずらす。)
- ② 積層厚は、市松は、約42mm(3mm×14枚)、
矢羽根は約36mm(3mm×12枚)となる。
- ③ 接着時には、クランプを活用し、しっかり接着する。
(接着後のものを以下「積層ブロック」という。)

注意点: 1 接着初期、接着剤の粘性により、ズレが発生するので注意する。

2 接着が完了したら、各辺が直角になるようカンナ、サンドペーパーなどで整形する。



3 積層薄板作り

- ① 「積層ブロック」を約4mm厚となるよう切断する。
- ② 切断した両面をサンドペーパーなどでノコ目を消しながら3mm厚に仕上げる。(以下「積層薄板」という。)



4 模様ブロック作り

積層薄板を、1枚おきにひっくり返し模様ができることを確認し接着する。(市松は17枚、矢羽根は14枚)
(接着後のものを以下「模様ブロック」という。)

- 注意点 1 市松模様については、「積層薄板」を、1枚おきにひっくり返さず、1マスずつずらす方法もある。
(この方が、木理が逆になることはないが、捨てる部分が多くなる。)
- 2 接着時、片側だけに接着剤を塗ると反対側に反り返ることがある。これを抑制するには、接着剤を塗らない面は水で濡らすと良い。



5 「模様ブロック」の完成と「模様薄板」作り

「模様ブロック」の表面を厚さ3mm程度にスライスし、両面をサンドペーパー等で2mm厚程度に調整し「模様薄板」を作る。(黒系板を使用しない場合は、約6mmで切断し、5mm程度に仕上げる。)



6 模様薄板を台板に接着

模様薄板を台板に接着する。

注意点: 接着力を高めるため、双方の接着面をノコ刃などで少しあらしておくが良い。



7 反対面に模様薄板を接着

反対面に他の模様薄板を接着することにより、異なる模様のリバーシブルとなる。



8 成形

楕円の形状にラフに切り出した後、サンドペーパーで成形する。

9 塗装

木材の自然な感触を得られるよう、オイルフィニッシュにより仕上げている。
(日晒し亜麻仁油、ワトコオイル等)



10 完成

穴開け後、ヒモを通し完成となる。(実際の作品では、右のように樹種を増やす等の工夫を加えている。)



参考(使用している道具類の一部)

1 切断・成型道具類等(例)

スケール、ノギス、ノコ、バンドソー、カンナ、サンドペーパー、ドリル等



2 接着道具類等(例)

各種クランプ、クリップ、作業板(100均のまな板など)、ワックスペーパー、食品ラップ、ゴム手袋、ブラシ、ヘラ、ボンド等



別紙 2

寄木アクセサリ一模様の製作工程

1 材料



2 積層



3 積層薄板作りと模様ブロック作成

(1)市松

(2)矢羽根



4 模様薄板作り、台板への接着、成形



